科目名 Subject	日本語総合Ｎ General JapaneseN		教員名	日本語ﾁｰﾑ	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	○	○	◎	◎	◎
科目の概要	日本学習の中級段階の基礎ともいえる文法表現、漢字、語彙、正作文などを総合的に学習する。こ日本語総合N、日本語総合O、日本語総合Pは前期の日本語総合E、F、Gの授業を後期に引き継ぎ、同じテキストを使ってとテキスト本文の精読、重要な文型と表現、関連表現、応用練習(話す・書くを学習する。また、パソコンを使い、中級文の入力スキルも身につけることができる。。				
授業の目標	中級レベルの学習をテキストを使用しながら授業を行う。内容としては初中級から引き続き高等な書き言葉、改まった日本語表現を6000から8000の修得するができる。また、中級レベルの1000字から1200字文章が書くことができ、読むこともできる。				
時間外学習 （予習・復習）	テキストに出てくる語彙や表現の意味確認などその数も増えるので30分から1時間程度の予習をして授業に参加することを前提とした授業をする。また、将来日本での就職の計画の中に入れ、Ｎ２レベルからN1レベルの学習も視野にいれ復習も必要である。				
教科書・教材	教科書	みんなの日本語中級Ｉ　スリーエーネットワーク			
	教材	聴解CD			
	使用設備・備品	パソコン			
	参考文献				
評価方法	予習や復習を含めて、授業への参画度にも重点を置き、提出物の完成度など平常点を全体の40%、期末試験を60%で全体を評価する。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	テーマやトピックスにいて、事前情報をきちんと収集してから出席してください。授業中のケータイ、スマホは辞書機能も含め禁止します。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	第８課　重要表現・話す	迷子になった想定で人や人物を詳しく説明することができる。	テキスト８課の新出語彙、表現の意味や語彙を確認し授業中にわからない意味がないようにしておく。復習は音読３回以上
第２回	第８課　聞く・会話・読む	スーパーでの店内放送を聞き取ることができる。読解は科学者について内容読み取りをすることができる	授業の前に店内放送を聞きメモをしておく。復習では読解の文章を3回以上読む
第３回	第８課　書く・練習問題	科学技術の発展とわたしたちの生活について800字の文章を書くことができる	書くテーマ「科学技術の発展」について下書きをしておく　復習では書いたものを3回以上読む
第４回	第９課　重要表現・話す	買いたい物の条件や希望を説明することができる。違いを比較して買いたいものを伝えることができる	テキスト9課の新出語彙、表現の意味や語彙を確認し授業中にわからない意味がないようにしておく。復習は音読３回以上
第５回	第９聞く・会話・読む	事実を正確に聞きとることができる。読むでは筆者の意見を読み取ることができる	「曲がるストロー」など生活に役に立つ発明を3つあげ、発明のきっかけを考えておく。復習では読むを熟読する
第６回	第９課　書く・練習問題	「カラオケ」について自分の国と日本を比べて800字の文章を書くことができる	カラオケで自分の国と日本の違いをできるだけ多く書いておく。復習では書いたものを何回もよく読む
第７回	第10課　重要表現・話す	日本語で誤解を解決することができる。誤解の原因を追究することができる	誤解された経験を3つ以上メモし、その時とうしたかもメモおく。復習ではメモを見て、違う解決を考えておく
第８回	第10課　聞く・会話・読む	聞く、会話では誤解を解く話し方を習得することができる。読むでは結論を読み取ることができる	10課の聞く、読むにでてくる言葉の意味をしっかり調べておく。復習では読むを熟読し、自分でも声をだしてQAする
第９回	第10課　書く・練習問題	人の性格の「記憶型」と「注意型」の比較文章をまとめ書くことができる	自分の性格が記憶型か注意型を考え、十敗の原因を考えておく。復習では書いた文章を熟読する
第１０回	第11課　重要表現・話す	提案をすることも、提案を受け入れる時の表現を自由にすることができる	11課に出てくる言葉の意味調べをする。上手な提案をへたな提案を考えおく。復習では自分一人でも声を出して復習する
第１１回	第11課　聞く・会話・読む	聞いたことをすぐに繰り返して発話することができる。読むでは日本語の文化を理解することができる	読むに出てくる語彙の意味調べをしっかりしておく。復習では何回もよ￥読んで内容をイメージする
第１２回	第11課　書く・練習問題	自分の国の伝説について800字から1200字でまとめることができる	自分の国の伝説について調べておく。どのように説明すてば、わかってもらえるかのアイディアをしておく
第１３回	第12課　重要表現・話す・聞く	苦情を言われて謝ることができる。また、事情を説明することができる	12課に出てくる言葉の意味を調べておく。自分のCDでCDどおりになる言ってみる
第１４回	第12課　聞く・会話・読む	意見の違いを対比しながら理解することができるし、自分の意見も言うことができる	読むをよく読んで、言葉の意味を調べておく。復習は読むを３回以上読んで、内容をイメージすること
第１５回	今期のまとめ　重要表現を中心に復習	１５回のまとめを重要表現を中心にする。これは試験対策のキーポイントである	しっかり復習して試験に臨み、結果が楽しみなるくらい勉強しておくこと